

抱樸館を支える会 会報

19号



2016年8月1日 発行:抱樸館を支える会

7月にあった抱樸館福岡見学報告

今回は2つの団体の見学の様子をお伝えします。

①福岡市内にある麻生医療福祉専門学校の社会福祉科の学生27名

見学の目的は「授業で、低所得者層の問題や生活保護の学習をしているが、生の声に接する機会がないので、その現実を見る」ということだそうです。

抱樸館福岡スタッフの上野麻帆さんがこの学校の卒業生なので三堀館長と一緒に講師をします。



福祉関係の仕事に就くことを前提に具体的な質疑が行われたうえで、上野麻帆さんに質問がありました。

Q：この仕事のやりがいは何ですか？

上野：人生で一番困っている時に、どうしたらよいかを一緒に考えることになります。どんな仕事に向いているか、ここに行けばこの手続きができるのではないかなどなど、その人が一人で生きていく準備と一緒にして、自立して行くのを見届ける。「上野さんに迷惑をかけられんから頑張る」と言ってもらえると本当にうれしいですね。



Q：（同行の先生から）学生たちがどんな勉強をしたらよいかアドバイスをお願いします。

上野：いろんなことに興味を持ってほしいです。私も学生のときに随分ボランティアなどもしました。いろんな体験を学生の間に経験してほしい。福祉の仕事では、人と接して、どうしたらその人が安心して生きられるかを考えることが大切です。いろいろな体験の中でその心構えが出来ていくと思います。

②津屋崎くらしを考える会の9名

津屋崎くらしを考える会は30数年前に、子育てをしている母親たちで作った会で、月に1度の学習会の一環として訪問されたということです。

会で環境学習からグリーンコープの組合員になられている方がほとんどですが、さらに抱樸館を支える会会員の方もおられます。

三堀館長から、抱樸館についての説明があり、質疑に移ります。メンバーの中には福岡市内でホームレスの炊き出しの活動をされている方もおられて、「最近ホームレスの数が減ったように見えるが、アパートに入って孤独になっているのではないか」との声も出されました。

Q：抱樸館福岡の運営で大変なことは？

三堀：大きく二つあります。一つは入居者にアルコール中毒やギャンブル依存症の方、あるいは精神的な病を抱えている方がお



られるのですが、抱樸館福岡はそのような方を受ける専門の施設ではないので対応に限界があります。こうした場合は、専門施設を紹介することになっています。二つ目は退居者のアフターフォローをすることになっているのですが、関係を続けるのが大変です。

参加者に、感想をお聞きしました。

- ・先にファイバーリサイクルセンターを見学したのですが、就労支援が実にしっかりしていることが分かりました。
- ・グリーンコープの組合員なので抱樸館のことは聞いていたのですが、見ると聞くとでは大違いでした。とてもよく理解できました。
- ・安全な食べ物から始まって、こんな活動まで行なうことになったグリーンコープを誇りに思います。

見学ご希望の方は、P8に案内があります。

一般社団法人 抱樸館を支える会
賛助会員の皆様

一般社団法人 抱樸館を支える会
会長 行岡 良治

一般社団法人「抱樸館を支える会」の昨（15）年度の決算報告と、「抱樸館福岡」の昨（15）年の経営の様子について、以下のとおり、ご報告いたします。

皆さま。いつもいつも、生活困窮者自立支援施設「抱樸館福岡」、そして、一般社団法人「抱樸館を支える会」をご支援くださいます。本当にありがとうございます。心から、お礼を申し上げます。

さて、本（16）年6月1日、一般社団法人「抱樸館を支える会」の第六期定時社員総会を開催いたしました。そして、昨（15）年度の決算報告を始め、必要な議案をすべて承認・可決いただきました。うけて、一般社団法人「抱樸館を支える会」は、今（16）年度を無事にスタートさせております。これも、皆さまのご支援の賜物にほかなりません。改めて、感謝申し上げます。

以上を踏まえて、以下のとおり、一般社団法人「抱樸館を支える会」の昨（15）年度の決算報告と「抱樸館福岡」の経営の様子ほかについて、ご報告いたします。

記

一、「抱樸館を支える会」の様子と昨（15）年度決算の結果について

- （1）「抱樸館を支える会」の賛助会員数は、本（16）年6月20日現在、個人会員数が8,308人、法人会員数が107社になっています。つまり、個人会員数はこの一年間で、1,080人も増加しています。また、個人会員数の動態は、以下のとおりとなっています。

	年間増加人数
2016年6月（8,308人）	
2015年6月（7,228人）	1,080人
2014年6月（6,485人）	743人
2013年6月（4,876人）	1,609人
計	3,432人

つまり、2013年の6月と比較しますと、個人賛助会員数は3,432人も増加し、ついに8,000人の大台を超えました。本当にありがたいことです。皆々様のご理解に、心から感謝申し上げます。

- （2）「抱樸館を支える会」はお蔭様で、昨（15）年度、以下のとおり、7,001,547円の黒字で決算いたしました。

① 前期繰越収支差額	5,674,802
② 今期活動収入	
正会員 会費収入	820,000
賛助会員（法人）会費収入	2,240,000
賛助会員（個人）会費収入	19,894,719
受け取り利息	2,596
収入合計	28,632,117

③ 今期活動支出

消耗品費（タックシールほか）	93,279
通信費（郵便後納料金ほか）	180,678
手数料（郵便振り込み手数料ほか）	15,724
租税公課（法人市民税）	50,000
雑費（預金残高証明書手数料ほか）	642
広報費（会報作成料ほか）	1,267,175
旅費交通費（会報取材交通費ほか）	23,072
支出合計	1,630,570

④ 今期寄付金支出

抱樸館福岡	13,000,000
抱樸館北九州	4,000,000
抱樸館熊本（準）	3,000,000
寄付金合計	20,000,000

⑤ 次期繰越収支差額 7,001,547

二、抱樸館福岡は昨（15）年度、2,208,512円の黒字で決算いたしました。累計の黒字額は70,047,509円になっています。

（1）しかし、抱樸館福岡が昨（15）年度、220万円余の黒字になっている理由は、なによりも「抱樸館を支える会」から1,300万円の寄付金が届けられたことによります。この1,300万円を差し引きますと、「抱樸館福岡」は昨（15）年度、実質的には1,100万円近くの赤字だったということになります。本当に申し訳ありません。

そして、昨（15）年度、「抱樸館福岡」が実質的に1,100万円の赤字となった理由は、空室が増加したことにあります。その意味では、折角の「抱樸館福岡」を活かすことができず、その結果として、赤字になっている、と申さねばなりません。環境の変化に体制が追いつかず、こうした結果になりました。重ねて、お詫び申し上げます。

うけて、空室をなくし、折角の「抱樸館福岡」を真に活かしていけるよう、必要な手立てをつくすことにしています。その結果は、来年のこの会報でご報告いたしますが、問題は解決されたと報告できるよう、全力で頑張りますので、どうかご了承くださいますよう、伏しお願い申し上げます。

（2）再三、ご案内していますとおり、「抱樸館福岡」の建物建設費用は2億3,317万円でした。一方、前述しましたように、累計の剰余金額が7,000万円余になっています。また、減価償却費の累計額が5,376万円余になっています。ですから、累計剰余金と減価償却費を合計しますと1億2,376万円強になります。つまり、私たちは、抱樸館福岡の建物建設費の53%強に相当する分の償却を終えつつある、もしくは、内部留保しつつある、ということになります。

（3）皆さま。これからも頑張りますので、引き続きご支援くださるよう、心からお願いする次第です。

抱樸館福岡の三堀明人新館長に聞く

今年4月に着任された抱樸館福岡の三堀明人（みつほりあきと）館長を取材させていただきました。三堀館長は41歳で、今年2月まで約2年間厚生労働省に出向されていました。グリーンコープでの職歴などについてもお聞きしました。

——お生まれは長崎県だそうですね。グリーンコープに出会うまでを教えてください。

「佐世保市の生まれで、高校までは佐世保でした。長崎市内の大学に行ったのですが、すぐにやめて、芸人になろうと東京に3年間いました。芸人の芽がなさそうだったので、佐世保に帰ってきて職を探していたところ、新聞の折り込みを見て応募したのが、GC（長崎）の佐世保センターでした」



——それから関西のグリーンコープに行かれたそうですね。

「GC（長崎）には9年いました。佐世保センターで2年間、長崎西センターや長崎東センターでは支部長をしました。2005年8月に関西に行くことになり、GCひょうごとGCおおさかで3年間働きました。それからGCおかやまに移り、6年間いました。常務理事などを経て、後半3年間は専務理事をしました」

——それから厚生労働省に出向されたのですね。

「グリーンコープからの厚生労働省への出向は私が最初のようなのです。出向は1年間の予定でしたが、延長して2年間居ることになりました。出向者は、研修生扱いで、仕事のお手伝いをすることになります。決められた情報のホームページへのアップ、自治体からの情報の集約、検討会の準備などをしながら、仕事を横で見ながらいろいろと学んでいくことになります。1年目は障害保健福祉部でした。ここでは身体障害者手帳の基準などを見直すというような仕事でした。たまたま世間を騒がせた聴覚障害の詐病問題が起こって、基準や手順を見直す作業などを手伝いました。2年目は社会援護局で、2025年問題（団塊の世代の高齢化問題）への対応を検討する仕事でした。介護ヘルパーが足りない人材確保をどうするのか、看護師などは退職の際に登録しておいて求職する際もアク

セスが容易にできるようになっているが、介護ヘルパーにはそのような仕組みがないので、そこで同様な仕組みを作るとのことのお手伝いをしました」

——厚生労働省への出向は勉強になりましたか。

「勉強になりました！ 障がい関係のことがだいぶわかるようになりました。身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳は法律に基づいて各自治体が発行することになっているのですが、療育手帳は国の通知に基づき各自治体で要綱等を定めて発行しています。抱樸館福岡の館長として実務にかかわって、その知識が役立ちました。今年改訂された社会福祉法の改定作業も厚生労働省にいるときに実務を見ながら、どうやったら法が変わるのかという手続き、たとえば大臣との関係、国会との関係なども学ぶことが出来ました」

——4月から館長になりました。

「4月から抱樸館福岡に着任したのですが、熊本地震の対応などで本格的に館長としての仕事が出来たのは5月中旬以降ですので、実質2か月経過したところです。抱樸館福岡が作られた経緯などは知っていましたし、支える会の会報などは見ていました。見学したことはありませんでした。」

——これまでのところで思うことがありますか。

「退居者や入居者の様子などを聞いて、いろいろ知らない世界があると思いました。ようやく6月に入ってから少しずつ仕組みや言葉も分かってきました。勉強しないといけないと感じており、やる気とやりがいが増してきました。スタッフに“何でそんな判断をしたのか”と聞いて調べて、でもよくわからないこともあるという状況です」

——これからやりたいことを聞かせてください。

「二つあります。①スタッフが持っている能力を生かして組織的な仕事ができるようにすることが最大の課題だと思います。前任の城戸館長が約2年間、そのように変えて来られたのを更に進めるのが私の仕事です。②退居後のアフターサポートが重要であると認識しています。抱樸館福岡では卒業生に定期的に連絡を取るようにはしていますが、連絡が取れない人や連絡が取れても実態は生活が破たんしている人もいます。これまで個別に連絡を取ろうとしてきたことを一歩進めて、『エリアごとに卒業生を一斉に訪問する』というような取り組みも検討しています」

——ありがとうございました。

抱樸館福岡の現状について

抱樸館福岡は、2010年5月に開所したホームレス者や生活困窮者のための自立支援施設で、社会福祉法人グリーンコープとNPO法人抱樸が協働運営しています。最近の抱樸館福岡の様子を三堀館長にお聞きしました。

——最近の抱樸館福岡の様子をお聞かせください。

「居室は81室あるのですが、入居者が50名程度に留まっています。福岡市内のホームレス支援団体との情報交換をもっと密にして、抱樸館福岡への入居を必要とする方々とつながっていきたいと考えています。また、アパートでの生活が難しいような入居者について、ある程度長期間入居できる仕組みも作りたいです」

——他にはどんなことがありますか。

「毎週金曜日に“カフェさんぽみち”を開催しているのですが、最近地域の方たちの利用が定着してきたと思います。幼児を連れた方が6人ほど、ほぼ毎週来られます。入居者も小さな花束を差し上げたりしており、心待ちにされているようです」

入居・退居の様子

入居者数

昨年（2015年）7月～今年（2016年）6月の1年間に入居した人は86人です。これまでの入居者のうち、全体の60%以上が50代・60代です。

※これまでの入居者の人数や年齢については、P8のグラフを参照ください。

退居後の住まいは8割が民間アパートに

退居後の生活場所（開所以降の人数）

行く先	人数	比率
民間アパート	666	74.7%
グループホーム等の施設	64	7.2%
入院	42	4.7%
寮（就職先の寮）	10	1.1%
帰郷	12	1.3%
逝去（抱樸館入居中）	5	0.6%
その他	6	0.7%
自主退居・不明	86	9.7%
合計	891	100.0%

※「自主退居・不明」は行き先を告げずに出て行った人、いなくなった人などです。

退居後の収入は生活保護が約52%、就労が約24%（開所以降）

収入手段	人数	比率
生活保護	462	51.9%
就労	208	23.3%
年金	92	10.3%
帰郷	7	0.8%
逝去（抱樸館入居中）	5	0.6%
他法活用	8	0.9%
自主退居・不明	109	12.2%
合計	891	100.0%

※「就労」「年金」は生活保護を部分的に利用している人を含む。

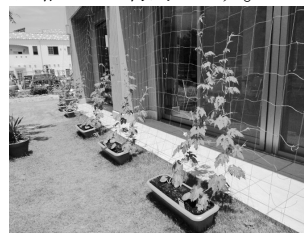
※前表の「帰郷」と人数が異なるのは、帰郷して年金や生活保護で生活している人もいるためです。

注：2016年6月末までの入居者877人は2度・3度入居した人も1人と数えています。これまでの延べ入居者は935人です。退居者891人は退居の都度退居者数に加えていますので延べ人数です。（延べ入居者）935人、（延べ退居者）891人で、現在の入居者は44人です。

緑のカーテン、その後です。

前回の会報18号で「抱樸館福岡の食堂は、日当たりが良いが夏はとても暑いので緑のカーテンを植えようという話が出て、退居者の皆さんが5月27日にゴーヤや朝顔を植えた」報告をしました。その後の報告です。

右の写真は、5月27日にプランターに植えた様子です。



6月14日、だいぶ伸びてきました。



6月29日、窓の上まで届くようになる。



7月5日、上は伸びたが、下の方が少し荒れてきたような……



7月21日、水やりを毎日していますが、やはり荒れてきました。プランターが小さすぎたか？

抱樸館北九州の現状について 高橋一誠館長に聞く

抱樸館北九州は、NPO法人抱樸が運営する施設で、2013年9月北九州市八幡東区に開所しました。3階建てで、1階は事務所・食堂・デイサービス施設です。2階・3階は居室で、30の居室があり、終の住処（ついのすみか）と自立に向けた6ヶ月間の入居用（自立支援住宅）になっています。

抱樸館北九州の高橋一誠館長にお聞きしました。

——最近の様子について
お聞かせください。

「終の住処は25室ですが、この1年で1名がなくなり、2名の方が介護老人保健施設（老健）に入居されました。自立支援の直近の退居者はアパートへの入居が4名、終の住処への移行が1名です」

——生活保護で生活されている方が多いのですか。

「生活保護だけの方は17名、年金だけの方は4名、生活保護＋年金の方が3名、生活保護＋就労4名、などです」

——抱樸館北九州の行事、イベントなどについて聞かせてください。

「イベントなどはNPO法人抱樸がこれまで自立支援してきた方を含めた互助会として行うことが多いですね。市民センターでの卓球大会も行いました。4月の終わりに高炉台公園でのお花見交流会を80名くらいの参加者で行ったのですが、抱樸館北九州の入居者はほとんど参加されました。毎週水曜日の午後にはなごみカフェが開催され、自立支援で地域生活をされている方も含めて毎回40～50名くらいが参加されます。映画会、卓球、カラオケなども定期的に行っています。車で少し離れた量販店にみんなで買い物に出かける買い物プログラムも継続して取り組んでいます」

——これからやりたいことなどを聞かせてください。

「終の住処をうたっていますので、人生の終わり近くになった時間を楽しく生活してもらえようになりたいですね。ここにいて良かったと思えるような場にしたいと思っています」

——今日はどうもありがとうございました。



抱樸館下関の現状について 佐藤敦洋館長に聞く

抱樸館下関は、NPO法人抱樸が運営する施設で、山口県のJR下関駅から徒歩で3分の高台にあり、2007年4月に開所しました。居室は23部屋と緊急受入用の予備室が2室あります。現在22名が居室に入居しています。

佐藤敦洋館長にお聞きしました。

——入居者の年齢や入居の時期などを教えてください。

「年齢は50代6名、60代5名、70代3名とやはり高齢の方が多いですね。3年以上入居を継続されている方が12名、3年未満の方が10名ですので、二極分化という状態ですね。

終の住処（ついのすみか）と短期間入居で自立していく施設という2つの性格を持っています」

——入居者は生活保護で生活している人が多いのですか。

「生活保護の方が多いですね。年金だけの生活は2名、4名は生活保護＋年金、あとは生活保護だけです」

——退居後はみなさんアパートに入られるのですか。

「昨年4月以降、7名の方が退去されました。老人ホームとグループホームが1名ずつ、5名はアパートに入居されました」

——地域との関係はどうか。

「うまくいっていると思います。地域の方から衣類や食料品の支援物資も日常的にいただいています。また地域の方に抱樸館下関の経営委員会の委員になっていただいています。それから下関圏域生活支援協議会が済生会病院・下関市・県や市の社会福祉協議会・保護司会などでつくられ、この場に抱樸館下関から参加させていただいています」

——これからやりたいことなどを聞かせてください。

「入居者に寄り添ってどんなことが出来るかを考えるためにも、入居者と定期的に話し合いをしたいですね。また、終の住処として入居されている方が日中することがないことが気になっているので居場所づくりをしたいと思っています」

——今日はどうもありがとうございました。



障害者就労移行支援サービス ウイング粕屋 を取材しました(7月22日)

ウイング粕屋は抱樸館福岡から5～6kmほどの粕屋町にある障害者就労移行支援サービス事業所で、A F OというN P O団体が運営しています。以前は抱樸館福岡の入居者が通っていた事業所です。



ウイング粕屋の職業指導員の宮内友子さんにお話をお伺いしました。

——障害者就労移行支援サービス事業所とは。

「障がいや難病の人が一般就労するためのサポートをする事業所で、障がい認定されている方、何らかの障がいがある引きこもり状態の方、社会に適応できない様々な障がいをお持ちの方を対象にしています。実際はこの事業所を利用する以前の状態から相談に乗ることが多いですね。この事業所を利用するには家族の理解も必要ですので、家族との面談が大切になります」

——利用者は何人位ですか。また男女や年齢なども教えてください。

「現在の利用者は毎日平均20人くらいです。ここは4年程前に開所し、最初は8割程度が男性でした。現在は6割くらいが男性です。受け入れは、10代から65歳までですが、多いのは20代から40代です」

——就労移行支援というのは具体的にどのようなことをするのですか。

「月曜日から金曜日に、午前中は企業訓練ということで、実際の企業で2時間働く練習をしています。午後は、就職に必須となるパソコン・マナー講座、国語力などです。国語力の訓練は、文章を読んでその内容を要約する、というような実践的な内容を行ないます。



また、ドッジボール・バレー・バスケット・キックベースなどのスポーツをすることで楽しみ

ながら体力を付け、コミュニケーション力もアップするように工夫しています」

——利用者は実際に就職できているのですか。

「ほとんど就職できています。職種としては、事務職、倉庫作業、工場、飲食店、清掃作業、介護事業所、配達など様々です。10年近くひきこもりで、もう就職は難しいだろうと家族も思っていた利用者が就職できたりするとうれしいですね」

——「くらし しごと 家計困りごと相談室」がすぐ近くですね。

「歩いて行ける距離で、わりと頻繁に情報交換しています。これまで相談室からの紹介で5～6人くらいは受け入れたと思います」

【注】粕屋町にある「くらし しごと 家計困りごと相談室」は、G C生協ふくおかが福岡県から受託した相談室で、筑紫郡と糟屋郡の住民の相談を受けています。

——宮内さんはここで働くようになったきっかけはどういうことからですか。

「私は事務職で働いた後、専業主婦でした。私が小学校の時の文集に『福祉関係の仕事をしたい』ということを書いたのですが、担任の先生が覚えておられて、近くの小学校の校長をされている時に『支援学級で支援員を募集しているのでやってみないか』という連絡をくださったのです。支援員は2年くらいしかなかったのですが、縁あってここで3年前から働いています」

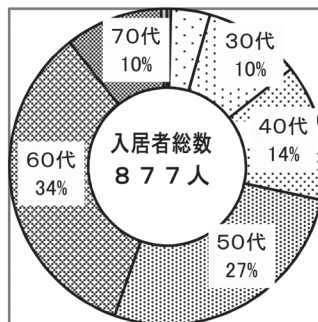
——これからやりたいことを聞かせてください。

「幼少期から仕事を意識しておけば良かったという声があったので、中学生・高校生の職場体験をやっているのですが、更に充実したいです。まだまだ家庭で引きこもっている人がたくさんいるので、そんな人を支援して社会との接点を持ち、たくさんの人が就労できるようになればよいな、と思っています。最後にとっても大切なことですが、就職した利用者が長続きするためには、継続的な定着支援が必要です。定期的な訪問や情報交換をしながら定着できるようにしたいと思います」

——ありがとうございました。

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2016年6月末までの入居者数



	人数	割合
10代	4	0.5%
20代	37	4.2%
30代	83	9.5%
40代	124	14.1%
50代	239	27.3%
60代	296	33.8%
70代	88	10.0%
80代	6	0.7%
合計	877	100.0%

2016年6月末現在の入居者

44人（定員81名） 男性44人、女性0人

2016年5～6月の新入居者数・退居者数

新入居者数15名 退居者数23名

（注：6月末までの入居者数877人は、
2度・3度入居した人も1人と数えています。）

抱樸館下関・抱樸館北九州の入退居の状況
は、特集の際にご案内します。

抱樸館福岡の見学のご案内

- （1）グリーンコープ生協として見学される場合は、所定の用紙でお申込ください。
（2）個人もしくは知り合いと一緒に

に見学される場合は、直接抱樸館福岡にご連絡ください。

◇出来れば5名以上でお願いします。（ホームページからも見学の申込が出来ます）

なお、1名あたり1000円の見学料をお願いしています。これには昼食代を含んでいます。昼食は入居者が日ごろ食べている食堂で同じものを食べていただきます。

抱樸館を支える会の概要**抱樸館を支える会の目的**

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日：抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員：以下の17団体が正会員です。

グリーンコープの各単協（14生協）

グリーンコープ連合

NPO法人 抱樸（旧：北九州ホームレス支援機構）

社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員

2016年6月末の賛助会員は、以下の通り

グリーンコープの共同購入組員 8308名

グリーンコープの店舗組員・一般の方 164名

企業賛助会員 106社

その他（抱樸館の所在地）

抱樸館福岡（福岡市東区） 2010年5月開所

抱樸館下関（山口県下関市） 2007年4月開所

抱樸館北九州（北九州市八幡東区） 2013年9月開所

抱樸館熊本：準備中

抱樸館を支える会 賛助会員と会費について**抱樸館を支える会 賛助会員募集**

賛助会員を募集しています。

賛助会員には、会報をお届けします。

グリーンコープの共同購入組員

賛助会員の申込には2つの方法があります。

- ①毎月250円の賛助会費を申し込みいただく（年間で3000円です）

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。

共同購入申込書の「1300」で申し込みください。

- ②1口1000円の賛助会費を申し込みいただく。何口でも申し込み出来ます。

申し込みいただいた月の商品代金と一緒に一括して引き落としとなります。

共同購入申込書の「1299」で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されますので新たに申し込みいただく必要はありません。（グリーンコープの共同購入組員の場合）

①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

一般の方、グリーンコープの店舗組員

1口1000円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。

郵便振替をお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口（30,000円）以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ

担当 家原 電話 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡（電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772）

〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州（電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705）

〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館下関（電話 083-223-4544 FAX 電話と兼用）

〒750-0025 山口県下関市竹崎町3-5-25